

農地の利用状況報告書
【自 令和●年●月●日 至 令和●年▲月▲日】

令和●年●月●日

大田市農業委員会会長 様

主たる事務所の所在地

名称及び代表者氏名

電話番号

- ☐ 年 月 日付け 指令第 号で農地法第3条第3項（解除条件付き貸借）の規定により同条第1項の許可を受けて使用貸借による権利又は賃借権の設定を受けた
- ☒ 農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第7項の規定による公告があった農用地利用集積等促進計画の定めるところにより賃借権又は使用貸借による権利の設定又は移転を受けた
- ☐ 改正前の農業経営基盤強化促進法第19条の規定による公告があった農用地利用集積計画の定めるところにより賃借権又は使用貸借による権利の設定を受けた

←農地法3条による契約の場合

←農地中間管理事業による契約の場合

←改正前の農業経営基盤強化促進法（相

農地（採草放牧地）について、農地法第6条の2第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1 報告に係る土地の所在等

土地の所在・地番	地目		面積 (㎡)	作物の種類別作付 (又は栽培) 面積	生産数量	10a当たり 収量(kg)	備考 (※2)
	登記簿	現況					
大田町大田口〇〇〇〇	田	畑	12	水稻：●㎡	●t	▲	
大田町大田口〇〇〇〇	畑	畑	123	ニラ：□㎡	□kg	◆	
大田町大田口〇〇〇〇	田	田	1234				
大田町大田口〇〇〇〇	畑	田	12345				

作付面積や生産数量、10a当たりの収量は品目ごとの合計で構いません。

- (※1) 「土地の所在」～「面積(㎡)」欄と「作物の種類別作付(又は栽培)面積」～「10a当たり収量(kg)」欄は必ずしも一致する必要はない。
- (※2) 「備考」には登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載する。

2 農地（採草放牧地）の農業上の利用に及ぼす影響

以下のうち該当するもの(□)に印(✓)をつけ、内容を記載してください。

- ☒ 周辺の作物に著しい被害を与える病虫・獣害の温床となる雑草を繁茂させていない。
(年に3回草刈りを実施)
- ☒ 農薬の散布の際には、周辺の作物の種類・出荷時期などに配慮し、飛散しないように措置している。
(近隣で有機農業をやっているので、影響のない薬剤を使用)
- ☐ その他

具体的な活動内容があれば、記載してください。
カッコは自動で入力されます。

3 地域の農業における他の農業者との役割分担の状況
以下のうち該当するもの（□）に印（✓）をつけ、内容を記載してください。

- ☒ 農業の維持発展に関する話し合い活動への参加
話し合い活動をする団体等名称： ○○集落
話し合い日： ●月●日
- ☒ 農道・水路・ため池等の共同利用施設の取決めの遵守
共同利用施設及び管理団体等： ■■用水
取決め活動日・内容： ●月●日、水路の掃除に参加
- ☒ 獣害被害対策への協力
活動日・内容： ▲月▲日、防護柵周辺の草刈りに参加
- ☐ その他

4 業務執行役員又は法人の行う耕作又は養畜の事業に関する権限及び責任を有する使用人の状況
(定款又は寄附行為の写しを添付してください。)

氏名	役職名	耕作又は養畜の事業の年間従事日数（※3）
大田 花子	代表取締役	250日

※3）「耕作又は養畜の事業の年間従事日数」には、当該事業年度において法人の行う農業に常時従事した業務執行役員又は法人の行う耕作又は養畜の事業に関する権限及び責任を有する使用人の耕作又は養畜の事業への年間従事日数を記載してください。

農業への年間従事日数が150日以上の役員が一人以上必要です。
役員が150日以上従事していない場合は、権限及び責任を有する使用人が農業に150日以上従事することが必要です。

5 その他参考となるべき事項（法人経営上の変更等）